

歳末たすけあい運動

みんなそろって明るいお正月を

「歳末たすけあい運動」によって集められた善意の寄附金は、地域の恵まれない人々や社会福祉施設を利用されている方々が、明るく楽しいお正月を迎えられるよう、社会福祉協議会等を通じて、正月支度金、越年資金などとして有効に活用されています。

今年もたすけあい運動にご協力ください。

年末の大掃除は 計画的に

新しい年を迎えるにあたって年末の大掃除は念入りにしたいものです。何かとあわただしい日が続きますので、障子の張りかえをする日とか、窓をふく日など、前もってスケジュールを決めて計画的に進めるとよいでしょう。

お正月はお客様の多いときです。テーブルなどの汚れもきれいにしておきたいものです。また、畳は水ぶきすると、かえって汚れをとりにくくするば

かりかへいたみかはげしくなり、畳本来のつやをなくしてしまいます。汚れが目立つときは、よく晴れた日に、ぞうきんを固くしぼって洗剤でふき、そのあと空ぶきをして湿気をとります。できれば、畳をあげて裏側のほこりも取り除きたいものです。玄関の引き戸やとびらはお湯でふくときれいになります。雨戸も相当汚れているものです。捨ててもよいシャツなどで砂ぼこりをふき取って下さい。

父親と写真

詫摩 武俊

大部分の家庭では、子供の写真を撮るのは父親の仕事となっています。幼い子供の動作や表情は本当にかわい

喜んで写真を撮ってくれます。乳幼児期は発達の著しい時期です。一週間前までできなかったことが急にできるようになります。例えば、クツキーのようなものを初めは手のひら全体で握って食べています。指も口の周りもベトベトになります。そんな段階から、親指と人さし指で器用につかんで食べるようになるまで、それほど長い期間を必要としません。初めて二本の指でクツキーをつかんだときの表情など、ぜひ写真に撮っておきたいものです。

カメラはほとんどの家庭に普及していますから、機会をみて、できるだけたくさん子供の写真を撮ってほしいと思います。それも、よそいきの顔をして並んでいる記念写真風のものだけでなく、泣いているところ、昼寝をしているところ、おふろに入っているところなど子供の生活のいろいろな場面のスナップが望ましいと思います。歩き始めたころの後ろ姿などもかわいいものです。

子供の写真を張ったアルバムには日付や場所とともに、その日の子供について短い感想を書き加えておきましょう。親自身によって書かれたその短い文章を何年か後に子供が見ると、親に愛されていたという実感が幼児期の記憶とともによみがえってくるのです。

（東京都立大学教授・心理学）



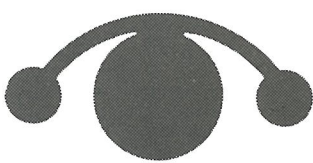
カーテンはブラシがけしてほこりを払い、洗えるものは洗たくします。カーペットも日に干

また、家の内外の清掃をかねて

して、ほこりをたたき出しましょう。室内の壁、天井のすみ、たな、窓のサンなど、日ごろ行き届かない細かいところもきれいにしたいものです。

物置きも一度整理するよう心がけましょう。

街ぐるみ みんながつくる くらしの輪



物価安定協力運動